



大和市協働推進会議 会長 殿

令和4年度協働事業等提案について（諮問）

このことについて、別添の令和4年度協働事業等提案について、貴会議  
の意見を求めます。

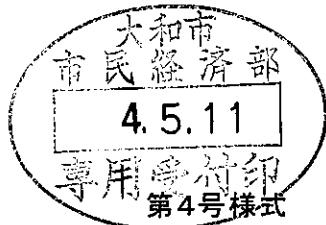
令和4年6月23日

大和市長 大 木



## ～ 目 次 ～

	申請事業名	種類	協働事業者／市の事業担当課	ページ
1	障がい者と地域住民とのふれあい体験活動を通じた共助・共生社会の実現を目指す事業	市民 提案型	NPO 法人大和市腎友会 ／指導室、健康福祉総務課	1
2	家庭訪問型子育て支援ホームスタート	市民 提案型	特定非営利活動法人ワーカーズ・コレクティブチャイルドケア ／すくすく子育て課	10



令和4年 4月 15日

### 令和4年度協働事業提案申請書

大和市長 あて

申請者 団体名 NPO法人大和市腎友会

代表者の職名・氏名 会長 藤本 隼久

住 所

連絡先

協働事業等提案募集要領の規定により、次のとおり申請します。

#### 1. 申請内容

事業名称	障がい者と地域住民とのふれあい体験活動を通じた 共助・共生社会の実現を目指す事業
申請種別	市民提案型

※以下の注意事項をご理解の上ご申請ください。  
(ご了承いただいた場合は、口にチェックをしてください。)

- 申請者及び申請団体の構成員が暴力団員であるときは、申請を無効とされても異議を申し立てません。

#### 2. 添付書類

添付書類	■ 第1号様式 市民提案型協働事業企画書 ■ 第3号様式 自己紹介シート ■ 団体の定款又は規約 ■ 団体の名簿 ■ 活動実績書類 (※) ( ) ■ 直近の収支決算書
------	---

※ 会報やチラシ、報告書、新聞記事の写し等活動実績のわかる資料を添付してください。  
また、資料はA4の大きさにそろえてください。



2022年4月15日

## 市民提案型協働事業企画書

応募者（団体名）	NPO法人 大和市腎友会
事業名称	障がい者と地域住民とのふれあい体験活動を通じた共助・共生社会の実現を目指す事業
協働したい担当課	教育委員会教育部指導室、健康福祉部健康福祉総務課

解決したい課題	外見では障がい者と気づかれずにいる、透析患者はじめ内部障がい者は、日常生活において様々な苦痛や苦勞、心配事が多数あります。とりわけ、災害時には支援を望んでいても個人的に協力依頼できない人でも、地域から忘れられないようにしたい。
事業の目的	小中学生が、若い日に障がい者が日頃感じていることや生き方を知り、自分の健康や生き方、災害時の共助を考えてもらう。また地域の防災訓練では、参加者に、障がい者への災害時の共助と共生を考えてもらうため。
事業の内容	<p>①透析者が、小中学生の福祉学習として、透析による身体的、経済的、精神的苦しさを語り、健康がいかに大事か、災害時自力での避難に不安がある透析者や障がい者のことを知り、弱者への気遣いの願いと、共助を考えてもらう。</p> <p>②透析者が、地域防災訓練に参加し、参加者に、身近な障がい者の存在を知り、共助と共生のあり方を考えてもらう。</p>
事業実施で得られる成果	<p>①小中学生の育成に必要な学校・家庭・地域の具体的な連携の一例になると共に、総合学習の一助ともなります。小中学生にとっては、障がい者自身が語る言葉が生活実証で切迫感があることから、自らの生き方や家族、障がい児者を考え、共生と共助を考える契機となります。</p> <p>②地域社会にあっては、共助と共生を意識した防災訓練として、より実効的な訓練になります。また、地域社会が、共助と共生を、理解から行動に移行できる契機となります。</p> <p>③障がい者自ら協働事業に取り組むことは、社会参加を促進し、障がい者の生き甲斐・働き甲斐となり、大きな励ましとなります。</p>

<p>2023年度 事業予算</p>	<p>140,000円（希望市負担金額 0円）</p>
<p>役割分担</p>	<p><b>【応募者】</b> 事業の実施と報告。 他の障がい者団体にも、障がい福祉課と連携し防災訓練への参加を従来以上に呼びかけ、さまざまな障がい者が少人数でも参加し、地域の人々との交流ができるように働きかける。</p> <p><b>【市の事業担当課】</b> ①事業目的の広報、実施校への案内・調整 ②下鶴間連合（自治会）防災会主催の防災訓練で避難行動要支援者支援制度の周知をする。</p>
<p>市との協働の 必要性</p>	<p>①地域社会の共助と共生の実現を目指すためには、行政が進める施策に当事者や民間団体が協力して実現する方が進めやすい。</p> <p>②健常者中心の防災訓練には、障がい者が参加しづらい。障がい者も障がい者であることはできれば知られたくない。しかし災害時には支援してほしいが、どうすればいいかわからない。障がい者も他の障がい者がいれば参加しやすい。</p> <p>③発災時に障がい者が避難生活施設に行っても、避難生活施設運営委員会が適切な受け入れをしていくためには、日頃から障がいと障がい者を知り、受け入れの態勢を作っておくことが不可欠。発災の確率が徐々に上がっているため、市が主導性を発揮して受け入れ態勢整備に取り組んでほしい。</p> <p>④障害者差別解消法の施行により、「合理的な配慮」についても、市が主導性を発揮する必要がある。</p>
<p>協力団体</p>	
<p>その他</p>	<p>透析者は、週3回・1回4時間の透析により、命を繋いでいる。</p> <p>透析のたびに、血圧の低下による体調変化や心臓への負担が大きく、水分管理、食品・栄養素管理など、生活上の負担感が大きい。</p> <p>通院時間を含めると、一日がかりで非常に疲れる。</p> <p>透析により体力が次第に低下し、多くの小中学校や各地の防災訓練でも活動したいと思ってもできず、最小限で留まっている。</p> <p>協働事業は、事業を応募者と行政が分担して推進することは当然だが、協働することにより、お互いの不足を補い合い、共に協力して、よりよい課題解決を図ることだと思う。</p>

◆スケジュール

【2023年度】

実施月	実施内容
学校と調整 7月	鶴間中学2年生 各クラスで1時間 透析は命の綱、一週間透析できないと死に至り、健康の大事さ、災害時自力で避難が困難な弱者への気遣いと、共助を考えてもらう。
10月	下鶴間連合自治会防災訓練会場 透析者を知り、障がい者の避難困難さと支援の方法を考えた防災訓練の実現を目指す。
11月	中央林間小学校4年生 各クラスで1時間 小学生にも中学生と同じ話をする。

【2024年度】

実施月	実施内容
学校と調整 7月	鶴間中学2年生 各クラスで1時間 透析は命の綱、一週間透析できないと死に至り、健康の大事さ、災害時自力で避難が困難な弱者への気遣いと、共助を考えてもらう。
10月	下鶴間連合自治会防災訓練会場 透析者を知り、障がい者の避難困難さと支援の方法を考えた防災訓練の実現を目指す。
11月	中央林間小学校4年生 各クラスで1時間 小学生にも中学生と同じ話をする。

【2025年度】

実施月	実施内容
学校と調整 7月	鶴間中学2年生 各クラスで1時間 透析は命の綱、一週間透析できないと死に至り、健康の大事さ、災害時自力で避難が困難な弱者への気遣いと、共助を考えてもらう。
10月	下鶴間連合自治会防災訓練会場 透析者を知り、障がい者の避難困難さと支援の方法を考えた防災訓練の実現を目指す。
11月	中央林間小学校4年生 各クラスで1時間 小学生にも中学生と同じ話をする。

◆収支予算書

【2023年度】

収入の部

費目	金額(円)	内訳
団体負担金	140,000	他事業より
収入合計	140,000	

支出の部

費目	金額(円)	内訳
活動費	106,000	有償ボランティア
交通費	15,000	
通信費	5,000	
物件費	14,000	消耗品、
支出合計	140,000	

※収入合計と支出合計が、同じ金額になるように記入してください。

※収入、支出の費目は、募集要領の34ページ「収支予算書の費目の例」を参考に記入してください。

※行が不足する場合は追加してください。

【2024年度】

収入の部

費目	金額(円)	内訳
団体負担金	140,000	他事業より
収入合計	140,000	

支出の部

費目	金額(円)	内訳
活動費	106,000	有償ボランティア
交通費	15,000	
通信費	5,000	
物件費	14,000	消耗品、
支出合計	140,000	

※収入合計と支出合計が、同じ金額になるように記入してください。

※収入、支出の費目は、募集要領の34ページ「収支予算書の費目の例」を参考に記入してください。

※行が不足する場合は追加してください。



【2025年度】

収入の部

費目	金額(円)	内訳
団体負担金	140,000	他事業より
収入合計	140,000	

支出の部

費目	金額(円)	内訳
活動費	106,000	有償ボランティア
交通費	15,000	
通信費	5,000	
物件費	14,000	消耗品、
支出合計	140,000	

※収入合計と支出合計が、同じ金額になるように記入してください。

※収入、支出の費目は、募集要領の34ページ「収支予算書の費目の例」を参考に記入してください。

※行が不足する場合は追加してください。

## 自己紹介シート

団体の名称等	NPO 法人 大和市腎友会 【代表者の職名・氏名】会長 藤本 曜久 <small>ふじもと あきひさ</small>
団体の住所	
連絡担当者 及び連絡先	担当者名 電話 e-mail
ホームページ	<a href="http://www.yjin.or.jp/">http://www.yjin.or.jp/</a>
設立年月	1982年 2月（法人格取得時期 2001年 1月）
設立の目的・ 経緯	1. 設立 1982年 2月 透析患者の任意団体として発足 2. 経緯 2001年 1月 NPO法人 認証・登記 透析患者の通院送迎を事業として始めるためNPO法人化 3. 目的 腎臓病及び糖尿病に関する正しい知識の普及及び 社会啓発並びに腎臓病及び糖尿病患者の自立と社会参加の 促進を図ると共に、予防対策を深め、もって市民の保健福祉 の向上に寄与すること。
主な活動地域	<input checked="" type="checkbox"/> 大和市内を中心に活動 <input type="checkbox"/> 市外を中心に活動 (活動地域： )
活動内容と 活動実績	1. 患者会 ①陳情活動 市議会、国会（年数回） ②協働事業 「障がい者と地域住民とのふれあい体験活動を通じた共助・共生社会の実現を目指す事業」 ③会員拡大 透析者会員の拡大 ④機関誌発行 「やまとじんゆう」年3回発行 ⑤医療介護講演会 透析食、介護保険など ⑥親睦旅行 日帰りバス旅行 年1回 ⑦共同募金 年2回（10月、12月） 2. 送迎事業 2001年～ ①透析者等通院送迎 毎日約50人（大和市・相模原市） ②協働事業 「障がい者・高齢者のための外出介助サービス」 大和市部分を対象

会員数	189人			
過去に助成を受けた実績	支給団体名	年月	金額	内容
	日本財団	2002年	337万円	車両助成
	丸紅基金	2003年	200万円	車両助成
	日本財団	2003年	288万円	車両助成
	かながわボランティア活動推進基金21	2005年～2007年	600万円	透析者のための防災対策
	福祉医療機構	2007年	177万円	防災フォーラム
	日本財団	2008年	201万円	車両助成
	福祉医療機構	2009年～2010年	400万円	障がい者参加の地域活性化防災訓練
協働事業の実績	市担当課	年～年	負担金	内容
	障がい福祉課	2004年～2006年	200,000	障がい者・高齢者のための「外出介助サービス」
	障がい福祉課	2007年～2009年	177,776	
	障がい福祉課	2010年～2012年	177,776	
	障がい福祉課	2013年～2015年	177,776	
	障がい福祉課	2016年～2018年	177,776	
	障がい福祉課	2019年～2021年	177,776	
	指導室、福祉総務課	2011年～2013年	0	障がい者と地域住民とのふれあい体験活動を通じた共助・共生社会の実現を目指す事業
	指導室、福祉総務課	2014年～2016年	0	
	指導室、福祉総務課	2017年～2019年	0	
指導室、福祉総務課	2020年～	0		



2022年4月16日

### 令和4年度協働事業提案申請書

大和市長 へ

申請者 団体名 NPO法人ワーカーズ・コレクティブチャイルドケア

代表者の職名・氏名 ふりがな 理事長 ながいけいこ 永井圭子

住所 [Redacted]

連絡先 [Redacted]

協働事業等提案募集要領の規定により、次のとおり申請します。

#### 1. 申請内容

事業名称	家庭訪問型子育て支援ホームスタート
申請種別	市民提案型

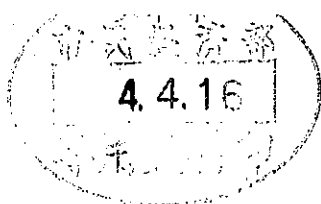
※以下の注意事項をご理解の上ご申請ください。  
(ご了承いただいた場合は、□にチェックをしてください。)

申請者及び申請団体の構成員が暴力団員であるときは、申請を無効とされても異議を申し立てません。

#### 2. 添付書類

添付書類	<input checked="" type="checkbox"/> 第1号様式 市民提案型協働事業企画書 <input checked="" type="checkbox"/> 第3号様式 自己紹介シート <input checked="" type="checkbox"/> 団体の定款又は規約 <input checked="" type="checkbox"/> 団体の名簿 <input type="checkbox"/> 活動実績書類(※) ( ) <input checked="" type="checkbox"/> 直近の収支決算書
------	---

※ 会報やチラシ、報告書、新聞記事の写し等活動実績のわかる資料を添付してください。  
また、資料はA4の大きさにそろえてください。



## 市民提案型協働事業企画書

応募者(団体名)	特定非営利活動法人ワーカーズ・コレクティブチャイルドケア
事業名称	家庭訪問型子育て支援ホームスタート
協働したい担当課	すくすく子育て課

解決したい課題	子育て中の親が孤立したり子育てが思うようにいかない悩みを抱える家庭がある。特にここ数年のコロナ禍における状況がさらに親に追い打ちをかけている。 閉塞感が子どもをかわいいと思えなくなったりイライラしたり、ネグレクト、虐待行為へ向かってしまう。 30代後半で出産した母親からの依頼が70パーセントを超え、話し相手が欲しいという希望が多い中、訪問して傾聴をしていきたい。
事業の目的	子育て中の親子を孤立させないために、また親のエンパワメントを図るために、子育て中の親へ寄り添い心身の負担軽減につながるよう支援する。
事業の内容	未就学児が一人でもいる家庭を対象とした家庭訪問型子育て支援。 無償で6回(1クール)家庭訪問し親子と一緒に過ごす中で話を聴き(傾聴)、遊んだり子育て支援施設に出かけたりする(協働)。そのことによって親の自信や自主性・健康を取り戻せるように寄り添う活動。
事業実施で得られる成果	親の精神的安定感、地域とのつながり、子どもの心身の健康、親子関係・夫婦関係の改善、ネグレクト・虐待防止、
令和5年度事業予算	600,000 円(希望市負担金額 200,000 円)

<p>役割分担</p>	<p>【応募者】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の実施(訪問活動)</li> <li>・事業実施に必要な人材育成のための講座の実施</li> <li>・協力機関との情報交換</li> <li>・事業の周知広報</li> </ul> <p>【市の事業担当課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の周知(市広報、ホームページ)</li> <li>・市内の関連団体・関係機関への情報提供</li> <li>・必要経費の一部負担</li> </ul>
<p>市との協働の 必要性</p>	<p>昨年度も所管のすくすく子育て課からの紹介があり、コロナ禍であっても事業の利用希望者が年間を通してありました。 また、広報やまとで訪問ボランティア(ビジター)を募集していただいたところ、コロナ禍にも関わらず 20 名近い問い合わせがあり、市の広報に掲載することの効果を実感しました。</p> <p>関連団体・関係機関からの紹介がほぼないため、引き続き情報提供をお願いします。</p> <p>人材育成のための講座は臨床心理士・有識者など専門職による講座を行う必要があるため、講師料がかかります。また、訪問活動なので、利用者宅への交通費もかかるため、事業に係る費用の一部を負担していただきたいと考えます。</p>
<p>協力団体</p>	
<p>その他</p>	

◆スケジュール

【令和5年度】

実施月	実施内容
4月	訪問活動、HV 交流会
5月	訪問活動、HV 交流会
6月	訪問活動、HV 交流会
7月	訪問活動、HV 交流会
8月	訪問活動、HV 交流会
9月	訪問活動、HV 交流会、HV 養成講座
10月	訪問活動、HV 交流会、HV 養成講座、トラスティ会議
11月	訪問活動、HV 交流会
12月	訪問活動、HV 交流会
1月	訪問活動、HV 交流会
2月	訪問活動、HV 交流会
3月	訪問活動、HV 交流会

【令和6年度】

実施月	実施内容
4月	訪問活動、HV 交流会、トラスティ会議
5月	訪問活動、HV 交流会
6月	訪問活動、HV 交流会
7月	訪問活動、HV 交流会
8月	訪問活動、HV 交流会
9月	訪問活動、HV 交流会、HV 養成講座
10月	訪問活動、HV 交流会、HV 養成講座、トラスティ会議
11月	訪問活動、HV 交流会
12月	訪問活動、HV 交流会
1月	訪問活動、HV 交流会
2月	訪問活動、HV 交流会
3月	訪問活動、HV 交流会

【令和7年度】

実施月	実施内容
4月	訪問活動、HV 交流会、トラスティ会議
5月	訪問活動、HV 交流会
6月	訪問活動、HV 交流会
7月	訪問活動、HV 交流会
8月	訪問活動、HV 交流会
9月	訪問活動、HV 交流会、HV 養成講座
10月	訪問活動、HV 交流会、HV 養成講座、トラスティ会議
11月	訪問活動、HV 交流会
12月	訪問活動、HV 交流会
1月	訪問活動、HV 交流会
2月	訪問活動、HV 交流会
3月	訪問活動、HV 交流会

◆収支予算書 ※実施したい協働事業に関する収支のみを詳細に明記ください。

【令和5年度】

収入の部

費目	金額(円)	内訳
団体負担金	300,000	
市負担金	200,000	
年末たすけあい助成金	50,000	
寄付金	50,000	
収入合計	600,000	

支出の部

費目	金額(円)	内訳
人件費	237,600	オーガナイザー900円/h×9時間×8日×2人、 900円/h×4時間×15日×2人
交通費	115,200	オーガナイザー訪問2回/件×400円×3回×12月、 ビジター訪問6回/件×400円×3人×12月
研修費	140,000	ビジター養成講座講師謝礼20,000円/人×6人、 資料代等、
ホームスタートジャパン年会費	30,000	
会議費	40,000	エリア会議
印刷費	20,000	ポスター、パンフレット作製
会議費	10,000	電話、
消耗品費	5,000	文房具
保険費	1,200	
雑費	1,000	
支出合計	600,000	

※収入合計と支出合計が、同じ金額になるように記入してください。

※収入、支出の費目は、募集要領の26ページ「収支予算書の費目の例」を参考に記入してください。

※行が不足する場合は追加してください。



【令和6年度】 ※実施したい協働事業に関する収支のみを詳細に明記ください。

収入の部

費目	金額(円)	内訳
団体負担金	300,000	
市負担金	200,000	
年末たすけあい助成金	50,000	
寄付金	50,000	
収入合計	600,000	

支出の部

費目	金額(円)	内訳
人件費	237,600	オーガナイザー900円/h×9時間×8日×2人、 900円/h×4時間×15日×2人
交通費	115,200	オーガナイザー訪問2回/件×400円×3回×12月、 ビジター訪問6回/件×400円×3人×12月
研修費	140,000	ビジター養成講座講師謝礼20,000円/人×6人、 資料代等、
ホームスタートジャパン年会費	30,000	
会議費	40,000	エリア会議
印刷費	20,000	ポスター、パンフレット作製
会議費	10,000	電話、
消耗品費	5,000	文房具
保険費	1,200	
雑費	1,000	
支出合計	600,000	

※収入合計と支出合計が、同じ金額になるように記入してください。

※収入、支出の費目は、募集要領の26ページ「収支予算書の費目の例」を参考に記入してください。

※行が不足する場合は追加してください。

【令和7年度】 ※実施したい協働事業に関する収支のみを詳細に明記ください。

収入の部

費目	金額(円)	内訳
団体負担金	300,000	
市負担金	200,000	
年末たすけあい助成金	50,000	
寄付金	50,000	
収入合計	600,000	

支出の部

費目	金額(円)	内訳
人件費	237,600	オーガナイザー900円/h×9時間×8日×2人、 900円/h×4時間×15日×2人
交通費	115,200	オーガナイザー訪問2回/件×400円×3回×12月、 ビジター訪問6回/件×400円×3人×12月
研修費	140,000	ビジター養成講座講師謝礼20,000円/人×6人、 資料代等、
ホームスタートジャパン年会費	30,000	
会議費	40,000	エリア会議
印刷費	20,000	ポスター、パンフレット作製
会議費	10,000	電話、
消耗品費	5,000	文房具
保険費	1,200	
雑費	1,000	
支出合計	600,000	

※収入合計と支出合計が、同じ金額になるように記入してください。

※収入、支出の費目は、募集要領の26ページ「収支予算書の費目の例」を参考に記入してください。

※行が不足する場合は追加してください。

## 自己紹介シート

団体の名称等	特定非営利法人 ワーカーズ・コレクティブチャイルドケア 【代表者の職名・氏名】 <sup>ふりがな</sup> 理事長 <sup>ながいはいこ</sup> 永井圭子
団体の住所	[Redacted]
連絡担当者 及び連絡先	<sup>ふりがな</sup> 担当者名 [Redacted] 電 話 [Redacted] FAX [Redacted] e-mail [Redacted] 住 所 [Redacted]
ホームページ (URL)	<a href="http://childcare-yamato.jp">http://childcare-yamato.jp</a>
設立年月	平成12年 9月(法人格取得時期 平成13年1月)
設立の目的・ 経緯	1999年に子育て経験者や子育て中の仲間と大和市の子育て支援の状況を調査した結果、保育園の一時預かりが少なく、ファミリーサポート事業を行っていないことがわかった。子育てを社会全体を支える仕組みが必要だと考え、地域の子育て相互事業を行う団体を設立した。 2004年(平成16年)4月 大和市協働事業「子育てサポート」事業となる。 2006年(平成18年)8月 養育支援訪問事業受託 2007年(平成19年)10月 つどいの広場「こどもーるつきみ野」運営事業受託 2011年(平成23年)9月 大和市協働事業「子育てサポート」事業終了 2011年(平成23年)10月 大和市ファミリーサポートセンター事業受託

	<p>2015年(平成27年)4月 病児・病後児緊急対応強化事業開始</p> <p>2015年(平成27年)11月 つどいの広場「こどもーる高座渋谷」運営事業受託</p> <p>2018年(平成30年)8月 つどいの広場「こどもーるつきみ野」が移転し、「こどもーる中央林間」となる。</p> <p>2020年4月 大和市協働事業「家庭訪問型子育て支援ホームスタート」開始。</p> <p>2021年4月 大和市支援対象等見守り強化事業受託</p>
主な活動地域	<p><input checked="" type="checkbox"/> 大和市内を中心に活動</p> <p><input type="checkbox"/> 市外を中心に活動</p> <p>(活動地域: )</p>
活動内容と活動実績	<p>〈活動実績〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H12.9～子育てサポート事業 (令和3年度)1,382回、1,173時間、活動正会員数のべ276人、利用会員数279人</li> <li>・H18.8～養育支援訪問事業 (令和3年度)318件、433時間、活動訪問員数のべ36人 対象者数のべ17人</li> <li>・H23.10～ファミリーサポートセンター事業 (令和3年度)10,025回、11,916時間、活動支援会員数のべ770人 依頼会員数のべ1,094人 活動日数360日</li> <li>・H30.8～つどいの広場事業こどもーる中央林間 (令和3年度)利用者数 大人3,666人 子ども3,745人 合計7,411人</li> <li>・H27.10～つどいの広場事業こどもーる高座渋谷 (令和3年度)利用者数 大人1,616人 子ども1,743人 合計3,359人</li> <li>・家庭訪問型子育て支援ホームスタート (令和3年度)利用件数33件、ビジターのべ24人、のべ119回</li> </ul>
会員数	.....144人

	支給団体名	年月	金額	内容
過去に助成を受けた実績	大和市社協	平成13年	250,000	年末助け合い配分助成
	大和市社協	平成14年	200,000	年末助け合い配分助成

	大和市社協	平成 16 年	230,000	年末助け合 い配分助成
	大和市社協	平成 17 年	100,000	年末助け合 い配分助成
	大和市社協	平成 18 年度	100,000	福祉活動助 成金
	大和市社協	平成 19 年度	90,000	福祉活動助 成金
	大和市社協	平成 20 年度	90,000	福祉活動助 成金
	大和市社協	平成 21 年度	90,000	福祉活動助 成金
	大和市社協	平成 22 年度	80,000	福祉活動助 成金
	大和市社協	平成 23 年度	49,000	年末助け合 い配分助成
	大和市社協	平成 24 年度	49,000	年末助け合 い配分助成
	大和市社協	平成 28 年度	50,000	年末助け合 い配分助成
	大和市社協	令和元年度	50,000	年末助け合 い配分助成
	大和市市民活動 課	令和元年度	200,000	市民活動推 進補助金
協働事業 の実績 ※継続事業の 場合のみ記載	市担当課名	年 ~ 年	負担金	内 容
	すくすく子育て 課	令和 2 年 ~ 令和 4 年	129,485	人件費
			129,820	
			129,820	
	年 ~ 年			